



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

FAX028(648)1823 <http://www.sakushin.ac.jp>



交通案内

◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から  
関東バス「作新学院駒生」行乗車

◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から  
関東バス「作新学院駒生」行乗車

※いずれも「作新学院前」下車

SAKUSHIN  
GAKUIN  
ELEMENTARY  
SCHOOL



作新学院小学部

2019

学校案内／募集要項



# 学風



## 「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

〈リトルジェントルマン〉 〈リトルレディ〉  
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長  
船田 元



理事長  
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

## 知 育 — 少人数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

## 徳 育 — 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道徳教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

## 体 育 — 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。

創立者 船田兵吾 (1868～1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、“神童”と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小学部  
初代部長 船田小常 (1903～1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道徳教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躰にも厳しかった。

こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



### 沿革

昭和29年	作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始	昭和38年	委託給食開始	平成14年	1学級25名基準、学年3学級編成を実施
昭和34年	制服制定	昭和41年	新校舎落成	平成17年	小学部校舎の拡充
昭和35年	必修クラブラグビー部設置	昭和57年	小・中等部体育館落成	平成21年	小・中等部食堂棟落成
昭和37年	必修クラブ茶道部設置	平成 3年	多目的校舎新設	平成23年	新入生より新制服となる
		平成 8年	TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)	平成26年	小学部創立60周年



# 開設当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

## 国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、開設当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし発音や習得の効率性を考えた場合、幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在小学部では、3人のネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年から英語が5・6年生で教科になることや、将来、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



1年生から6年生まで、毎週2〜4回、英語に親しんでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用に重点を置いています。

## 異文化体験教室

5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



スコンの作り方を教えてもらいました。



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



スタンプやカラーペンで英字カード作り。



イングランド起源の「クリケット」を体験!!



## 一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで行き届いた指導を実現します。



小学部長  
岡田 幸子

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



## 自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中等部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。

### 国語

国語という教科はすべての教科の基礎となります。「話す」「聞く」「書く」「読む」という活動を通して基礎基本を身につけ、正しい日本語の担い手になるような子どもたちを育みたいと考えています。特に日記指導、漢字学習、音読を重視し表現力を高めようと努力しています。

### 理科

本来子どもたちは理科的な事柄への新鮮な好奇心をもっています。その好奇心が枯れないように、実験観察や科学的に考えることの楽しさを体験させることを通して、自然に対する探求心や科学への興味関心を高めていくよう努めています。

### 図工

子どもたちが、つくりだす喜びを味わえることを目的に、様々な造形的な創造活動を通して基礎的な能力を育てます。見ること、触れること、感じること、驚くことなどの発見や体験から生まれたイメージを大切に、それを表現できるように指導します。

### 音楽

さまざまな音楽的活動を通して生涯にわたって音楽を愛好する心と感性を育てています。また基礎的な音楽技能を習得させ、豊かな情操を培っています。

### 総合

各学年・クラスごとに自分たちでテーマを見つけ学習に取り組んでいます。パソコンを使つての「調べ学習」の他、各教科の発展学習もあれば、人間関係を深めるゲームなど多彩な授業を展開しています。

### 道徳

道徳が、2018年度から「特別の教科 道徳」として教科になりました。聖話を導入とした授業など、小学部独自の道徳を展開しています。

### 算数

小学部の算数でねらっているのは、「基礎的・基本的な内容の理解と充実」とその上立った「数学的な考え方や問題解決力の育成」です。全クラスでチーム・ティーチングを行い、多くの具体的な操作活動を通して数を実感としてとらえる指導をしています。

### 社会

身近な社会を学ぶという視点に立ち、地域の公共施設で働く人を見学したり、毎日生活していく中での歴史的、文化的背景について学習する機会を作ります。また自分の住む社会に対する興味を育てながら、さらには日本の国土について学習します。

### 体育

心身ともに健康な体を育むことに重点をおいて指導しています。特に低学年時は、遊びや基本の運動を通して、体を動かすことの楽しさを自然に体得させるとともに、集団としてのルールや決まりを学ばせます。

### 家庭

衣食住に関する実践的な活動を通して、日常生活に必要な知識・技能を習得します。生活をより楽しく、より良くする能力を育てます。

### 生活

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会や自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えようとする態度を養います。また、生活上必要な習慣や技能を身につけさせます。

継続して実施されるカリキュラム	読書・運動・英語など	日々を顧みる日記	英会話授業の充実	コンピュータ教育
				
8:15~8:45	毎日	毎日	入学時から学習	1年生から実施

### 必修クラブ

#### ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。時には、作新学院高等学校のラグビー部員による技術指導を受けることもあります。



ラグビー(男子)



### 必修クラブ

#### 茶道

5・6年生の女子は茶道家のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通し、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。



茶道(女子)





# 朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。

毎週水曜日に朝の運動があります。



6年生は週番の仕事として、朝早く掃除活動を行っています。

## 登校

徒歩・バス・自家用車などで8時15分までに登校します。登校時は正門・アカデミアゲートのどちらからでも入れます。

## 一日の流れ



## 1 時限目

歌やゲームを楽しみながら、生きた英語を身につけます。



## 2 時限目

自信を持って自分の意見をはっきり発言できる姿勢を育みます。



## 3 時限目

音楽では、合唱や器楽合奏などを通して、豊かな情操を育みます。



## 4 時限目

先生のお話をよく聞いて、わからないことは質問し、疑問は今日のうちに解決します。



## 給食

ランチタイムは友達と楽しくお話をしながらいただきます。



## 5 時限目

一人ひとりに丁寧な指導をすることで、能力を伸ばしていきます。



## 6 時限目

「燃焼の仕組み」の実験。理科の実験は新しい発見がいっぱい。児童の目が輝きます。



## 下校

下校時も、児童の安全確保につとめています。



## 一校一家の精神

小学部では上級生が下級生をサポートすることが日常となっています。下級生を思いやる心を育てるとともに、上級生への感謝の気持ちと目上の人を敬う一校一家の精神が、脈々と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に紙芝居を読んであげたりしています。

## ランチルーム

5・6年生はランチルームにて給食をいただきます。清潔で開放的なランチルームでの昼食は、友達との会話も弾み、リラックスしたひとときです。様々なイベントにも活用されています。



【親子給食】1年生児童と保護者が一緒に楽しい給食体験!!



## 学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしていきます。

- |     |                          |                         |                         |                |     |      |     |        |             |                 |     |
|-----|--------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|-----|------|-----|--------|-------------|-----------------|-----|
| 4   | 5                        | 6                       | 7                       | 8              | 9   | 10   | 11  | 12     | 1           | 2               | 3   |
| 入学式 | 春の遠足<br>幼小連携田植え<br>親子給食会 | 修学旅行<br>花の日訪問<br>親子のつどい | 異文化体験教室<br>林間学校<br>体験学習 | チャレンジ講座<br>盆踊り | 運動会 | 秋の遠足 | 感謝祭 | 長距離走大会 | クリスマス礼拝・音楽会 | スキー教室<br>スケート教室 | 卒業式 |

### 入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

### 春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

### 幼小連携田植え



年長園児ともち米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月末に刈り取り、12月には餅つきをして食べます。

### 花の日訪問



日頃お世話になっている公共機関や施設に、感謝の気持ちとともに花を届けます。

### 盆踊り



夏休みの一泊、校庭にやぐらを組み、夕方からお囃子に合わせてみんなで踊ります。

### チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして、約20の講座が開かれます。この講座では、干支の酉のぬいぐるみを作っています。

### 長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。

### クリスマス礼拝・音楽会



音楽会はクリスマス礼拝のあとに実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。

### 運動会



割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

### 秋の遠足



秋の遠足は、りんご狩りやさつまいも掘りなど実りの秋ならではの体験も。

### 感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老ホームなどへ届けています。

### スケート教室



3・4年生を対象に実施。1時間ほどの練習で、3年生も上手に滑れるようになります。

### スキー教室



5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるように。



### 修学旅行

2泊3日で横浜・鎌倉・箱根をまわります。班別行動を中心に、自然や歴史・文化を満喫します。

箱の森プレーパークにてサイクリング



りんどう湖ファミリー牧場にて牛の乳搾り体験やたくさんの動物とふれあいます



陶芸教室にて器作り



塩原の清流にてお昼休憩



### 林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情を深めます。





作新民

社会で活躍する卒業生からのメッセージ

NHKのデスクとして、ニュース番組の分野で活躍。  
元担任の八島教諭と久しぶりに再会し、近況や思い出を語ってくれました。



勤務先にて

## 青木 圭子 さん (旧姓 田辺) NHK (日本放送協会)

東京大学法学部 ◀ 宇都宮女子高等学校 ◀ 宇大附属中学校 ◀ 小学部 (昭和61年度卒)



アカデミア・ステージにて青木さんと八島先生



小学部時代の青木さん

(八島) 今、NHKでどんな仕事を？

**青木さん** 現在は、土曜日の「週刊ニュース深読み」を担当しています。最初の2年間はディレクターとして、今はデスクとして2年間やっています。最初の5年間はNHK秋田で番組作りに関わっていました。やりがいのある仕事をやらせてもらい、NHKに入社して本当によかったと思っています。

(八島) 達成感を感じるのは、どんなときですか？

**青木さん** ニュースの仕事には、取材交渉や出演・編集・構成や演出などたくさんの方が関わっているのですが、できあがったニュースの構成や流れが私のイメージとマッチしたときに達成感を感じますね。そして、「あの番組は良かった」という視聴者の反応がツイッターなどで分かったり、新聞の番組批評欄で私の関わった番組について「構成の完成度が高い」などと記載されると本当に嬉しいです。

(八島) 小学部にいたころの思い出は？

**青木さん** 毎日の日記と漢字の学習。英語の授業が特に楽しかったです。英検4級に合格したときは達成感がありました。行事はどれも楽しかったです。でも、4kmのマラソン大会はきつかったです。でも、いじめやケンカもなかったし、毎日が楽しかった。みんなが家族のようでした。

(八島) 小学部の後輩に伝えたいことは？

**青木さん** ニュースなどで知る社会のことを他人事としてではなく自分の生活の中でしっかりと考えてほしいです。そして、周りの人たちに対しての思いやりをもっていただきたいです。みなさんが社会に出るころは、いろいろな面で大変な時代だと思います。「生きる力」は様々な体験から学びとることができます。挑戦する勇気を持って多くのことを学んでください。私もがんばります。

SMBC日興証券の社員として、世界を舞台に活躍。

小学部時代に社会科を教えてもらった八島教諭と20年ぶりに再会し、近況などを語ってくれました。



勤務先にて

## 木村 文彦 さん SMBC日興証券

早稲田大学商学部 ◀ 宇都宮高等学校 ◀ 中部部 ◀ 小学部 (平成11年度卒)



アカデミア・ラボのテラスにて木村さんと八島先生



小学部時代の木村さん

(八島) 今は具体的にどんな仕事を？

**木村さん** 上場している会社に合併や資金調達とか投資関係のアドバイスをしています。社会に対する責任と会社に対する責任の両方がありますが、その分達成感が大きいです。

(八島) 英語を小学部で学んだことについては？

**木村さん** 海外でお金を調達する仕事なので、英語ができないとだめです。英語は早く始めた方が勝ちなので、その頃から英語教育をしてくれていたことに感謝しています。小学生のころに英語のおもしろさがわかったいいですね。

(八島) 小学生のときに大切なことは？

**木村さん** 自分で好奇心をもって何かをとことん調べる。それが将来仕事でわからないことにも立ち向かうことになる。できるだけ好奇心を育てるといいと思います。

子どもはほめられると自信につながるの、良いところをほめて自信をもてるようにしてほしいです。

(八島) これからの夢や目標は？

**木村さん** 日本経済にインパクトを与えられるような人間になりたいです。

(八島) 最後に小学部の子どもたちにメッセージを。

**木村さん** 生きていく上での人間生活の基礎のようなものを小学部で学べたことがよかったです。一番の財産は、今でも仲良く飲める仲間ができたこと。みんな意識が高く、真面目にがんばっている友人が多いので、お互い刺激になります。切磋琢磨して、互いに成長しあえる仲間と小学部時代に出会ってほしいですね。

世界で活躍する先輩



## 2016年 スポーツクライミング世界 選手権で日本人初優勝!!

TEAM au 所属  
榎崎 智亜 さん

- ▲ 宇都宮北高等学校
- ▲ 中部部
- ▲ 小学部 (平成17年度卒)
- ▲ 作新学院幼稚園

作新学院小学部は、先生と生徒の距離がとても近く、家族のような環境で、6年間があっという間でした。毎日、みんなで笑いあい、楽しく過ごしていました。今でも当時の仲間と交流があり、エールをもらいながらクライミングに取り組んでいます。後輩のみなさんには、この豊かな環境のもとで大切な仲間と出会い、自分自身の輝けるもの、夢中になれるものを見つけ、この学校で良かったと思える小学校生活を満ちるものにしてほしいです。





## 2019年度 募集要項

募 集 人 員	第1学年、男女あわせて75名（1学級25名程度の少人数編成）
出 願 手 続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出 （願書配布は、9月1日頃から事務局、又は小学部職員室にて）
出 願 期 間	2018年11月1日(木)・2日(金)・5日(月)・6日(火) 受付時間 9:00～16:00
選 考 日 時	2018年11月23日(祝・金) 申込順に下記の時間を指定します 9:30 / 10:30 / 13:30 / 14:30
入 学 選 考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます 合わせて保護者の面接も行います
選 考 料	8,000円
合 格 通 知	2018年11月27日(火) ※郵送通知による発表
入 学 手 続	・合格者は2018年12月3日(月)までに入学金80,000円を所定の銀行へ 振込んでください。 ・教育委員会への手続きは本学院で行います。（入学金は返金いたしません）
そ の 他	・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。 ・学区制限はありません。 ・卒業後の進路選択は自由です。 ・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。

### 入学諸経費

○諸納付金…167,980円

※2018年7月 現在

- |                                   |                           |
|-----------------------------------|---------------------------|
| ■施設費 100,000円(入学時・2年より年間 20,000円) | ■4月分授業料・教育充実費・実習費 32,600円 |
| ■学級経費 13,000円(半年分)                | ■保護者会経費 12,000円           |
| ■給食費 6,900円                       | ■その他の経費 3,480円            |

○購買用品…男子/約 68,600円・女子/約 71,600円

- 制服一式 ◆男子 約 25,000円 ◆女子 約 28,000円  
 ■体育着一式 男女共通 約 6,600円  
 ■学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 37,000円

○毎月の経費…42,500円

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| ■授業料・教育充実費・実習費 32,600円 | ■給食費 6,900円                |
| ■行事積立金 3,000円          | ※4・5月は、学級経費 13,000円が含まれます。 |

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続き及びその連絡のために使用いたします。

## 学校説明会・公開授業参観のお知らせ

10月18日(木) 学校説明会

小学部に入学を希望する  
園児の保護者の方々の  
ご来校をお待ちしています。

公開授業参観

場 所/聴蛙館 3階  
受 付/ 9:30～10:00  
開催時間/10:00～10:40

場 所/小学部各教室  
受 付/10:30 児童玄関  
授業時間/10:50～11:35

聴蛙館



### 小学部見学会

小学部オープン教室・各教室にて

9月27日(木)

開催時間/10:00～

- 内 容
1. 学院代表挨拶
  2. 小学部長挨拶
  3. 児童による発表
  4. 授業公開

・英語による  
ショートスピーチ  
・金管クラブの演奏 等



### 一日体験教室

小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に  
小学部教室にて「一日体験教室」を開催しています。



実際の教室にて小学部による  
楽しい授業が体験できます。



楽しいゲームを通して  
英語のレッスン♪



作新学院  
一の沢キャンパス

### 安全対策

#### 登下校時の安全確保についての小学部での対策

○下校の際には、毎日バス停の方面ごとに教員が児童を引率しています。

○通学範囲の広さを考慮し、安全確保のため、学校指定の機種に限り条件を付して  
携帯電話の所持を許可しています。

作新学院

Eメール送信

休校や災害時の緊急連絡・不審者  
情報などの連絡

